

要 点 録

会議名	多摩市消防委員会
日 時	令和 8 年 7 月 2 3 日（木） 10：00～11：00
場 所	多摩市役所 本庁 2 階 防災対策室
参加者	【消防委員】 高野 陽一（元多摩市消防団長） 森久保 芳康（前多摩市消防団長） 小磯 明（多摩消防懇話会特別顧問） 中村 一雄（多摩市自治連合会長） 甫出 憲治（多摩消防署長） 城所 久夫（多摩市消防団団長） 小泉 藤夫（多摩市消防団副団長） 吉沼 叔孝（多摩市消防団副団長） ※太田美智子（多摩防火女性クラブ会長）、小堺健司（多摩災害防止協会会長）、佐伯一哉（多摩市消防団副団長）は当日欠席。
	【事務局】 柚木防災安全課長 野村消防担当主査 中村消防担当主事
会議次第	(1) 開会 (2) 各委員紹介 (3) 議題 消防団ポンプ車購入と今後のスケジュールについて (4) 報告 ア 消防団アプリの導入について イ 令和 8 年度多摩市消防団活動報告（現時点まで） (5) その他 (6) 閉会
公開・非公開の別	公開（傍聴者の数 0 人）

開会 新委員紹介 議題	新しく委員になった吉沼委員（多摩市消防団副団長）が挨拶された。 議事内容 （1）消防団ポンプ車更新事業について 【事務局報告】 消防団ポンプ車更新事業について、車両購入契約を締結したことを報告した。 新車両については、安全装置の強化、走行性能の向上を図るほか、収納及び艤装内容の一部変更を予定している。 また、納車時期については、契約では、10台の納車が令和10年2月頃となる見込みである旨を説明した。 【主な質疑応答】 委員 更新後の車両保管場所について、市有地を活用することはできないか。 事務局 保管場所の確保については課題として認識しており、提案内容も含めて検討していく。 委員 更新車両の引き取り後の活用方法について、再活用が理想ではあるが、保管場所や維持管理の課題がある場合は寄贈する方法もあるのではないか。 委員 過去には海外へ消防車両を寄贈した事例もある。国内輸送に係る経費程度で対応できる可能性もあるため、都消防協会を通さない方法も含めて検討してほしい。 委員 10台を一括で扱うのではなく、用途ごとに分散して活用を検討してもよいのではないか。 委員 一部車両については、市役所に保管し、展示やイベント等で活用することも有効ではないか。 事務局 提案内容も含めて検討していく。 【審議結果】 原案通り承認された。
報告	報告内容 （1）消防団アプリの導入について 【事務局報告】 令和3年の消防団活動見直し検討会において、消防団員の負担軽減を目的としたICT機器の活用推進が提言されたことを受け、詰所のWi-Fi環境整備や情報収集を進めてきた。令和5年には消防団向けアプリを提供する事業者について、機能及びコスト面から比較検討を実施した。また、令和6年にはアプリを導入している自治体を視察し、導入後の運用状況を確認した。これらの検討結果を踏まえ、令和7年度予算に事業費を計上し、令和8年2月に消防団アプリを正式導入した。

今年度については試行・検証期間と位置付け、段階的に活用を進めていく予定である旨を報告した。

(2) 令和8年度 多摩市消防団活動報告（現時点まで）

【事務局報告】

令和8年4月以降の消防団活動実績及び今後の活動予定について報告した。

また、令和8年4月以降に発生した災害のうち、消防団が出場した計4件の災害概要について報告した。

さらに、第九消防方面本部において、多摩消防署の指導のもと、消火栓部署要領、延焼建物への放水要領及びはしご架梯要領に関する訓練を実施したことを報告した。併せて、災害現場での活動を想定した実践的な訓練を実施し、消防団員の技術向上及び災害対応能力の強化に努めている旨の報告をした。